

武井 誠 活動報告

武井 誠 を励ます会

〒350-0253 埼玉県坂戸市北大塚 40
TEL 049-289-2527 ケイタイ 090-9854-5175
<http://www.takei-makoto.org/>
E-mail takei@sakado-gr.org

19号

- ◆ 2015年 武井誠の決意
- ◆ 坂戸市議会 12月定例会報告
- ◆ 12月議会 武井誠一般質問
- ◆ 武井誠、冬の日程 無料法律相談案内
- ◆ 「アジアの平和を目指して」講演会

戦争と原発は絶対に認めない

2015年、私は、厳しい1年になるという予感と、けっしてあきらめないという覚悟をもって新年を迎えました。



昨年末の衆議院解散は、国民の生存権を脅かす安倍政権による、諸政策の破たんが明らかになり支持を失う前の「今のうち解散」とでも言うべきものでした。

私たち社民党は「命を大切にする政治」を対置し、全力で頑張りましたが、力及ばず、政権の継続を許す残念な結果となりました。

ご支援いただいた皆さまに、心からお礼とお詫びを申し上げます。



しかし、私たちは自公政権に、白紙委任をしたわけではありません。低投票率に加え、小選挙区制というカラクリもあり、解釈改憲による集団的自衛権行使容認や、原発再稼働問題などについては、国民世論の動向と、国会内の勢力分布とでは、大きなかい離があります。



このような、坂戸市民の幸せが根底から覆されかねない安倍政権の暴走に、あらゆる機会を通して反対の意思表示をしなければならない時であると思います。例えば辺野古基地移転反対を貫く沖縄県民に学び、私たちも闘い続ける、その決意を表明し年頭のご挨拶とします。



武井誠は、市内各駅頭で街頭演説。アベノミクスのまやかし、脱原発、集団的自衛権反対、TPPの危険性、そして「比例区は社民党へ！」と市民みなさんに、力いっぱい訴えさせていただきました。

無料法律・生活・年金相談

弁護士、社労士、心理カウンセラーによる無料相談会を実施しています。どうぞご利用ください。

会場は北坂戸オルモ、13時～武井誠との市民生活相談、14時～社労士による年金相談(2月は休止)、15時～弁護士による法律相談となります(要予約)。

次回は 1月24日(土)

次々回は2月28日(土)です。

緊急の場合には、有料となりますが信頼できる弁護士事務所、社労士、税理士事務所を紹介します。詳しくは、武井誠ホームページ、又は武井まで直接お問い合わせください。(ケイタイ 090-9854-5175)

ホームページを毎日更新し、私の活動をお知らせしています。「武井誠」と入力して、**検索**をクリックしてください。ツイッター、フェイスブックからも発信中。メールマガジンも始めました(月2回配信)。

12月議会議案可決 請願は意見分かれる

コミュニティセンター廃館へ

施設の老朽化が進み、耐震性も問題とされてきたコミュニティセンターの廃館が決まりました。「やむなし」と言うことで、全議員が賛成、跡地については休日急患診療所や在宅介護等についての医療拠点候補地として、坂戸鶴ヶ島医師会、鶴ヶ島市に提案されています。コミュニティセンター内のボランティアビューローは、福祉センター内に移動、これに伴って福祉センターの活動室が一つ廃止となりました。

活動室については、坂戸市勤労女性センターの活動室が、定期利用団体以外にも有料で貸室機能を持つように条例改正されました。

公共施設マネジメント計画等

私を含む多くの議員が質疑や一般質問をしています。コミセンだけでなく今後老朽化していく公共施設の計画的な管理が必要です。今年度から30年間にわたる坂戸市公共施設等マネジメント計画案が出され、市民コメントが求められています。

他にも、坂戸市地域福祉計画(第2期)、坂戸市子ども・子育て支援計画、坂戸市高齢者福祉・介護保険事業計画も市民コメント募集

中。坂戸市役所のホームページ、お役立ち情報の欄の「市民参加」の項目をクリックするとご覧になれます。が、見つけにくいですね。ホームページのレイアウトについても改善を求めています。

請願は、採択、不採択、継続

「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する意見書の提出を求める件」については、全会一致で可決しました。

「消費税率の10%への引き上げに反対する意見書の提出を求める件」は、延期ではなく中止に、というのが請願の主旨です。

私は議員間討議を提案。選挙中でもあり、若干の議論となりました。「財政再建に取り組む姿勢を国際社会の中で示さねばならない。現実的な対応を。」という意見を受けて、私は「確かに、しっかりした制度設計を示すことは重要。しかし『現実的』という言葉のもとに問題が先送りされ、取りかえしのつかないところに突き進みつつあるのが現状。覚悟をもって、進路を修正することが必要。」と意見を述べました。討論を経て、採決。私は賛成しましたが、賛成少数で、請願は不採択すべきものという結論になりました。

もう1件については下欄をご覧ください。

人間としての尊厳の回復と、差別なき戦後補償を「空襲等被害者援護法」制定を求める意見書提出、継続審査に

今年、戦後70周年となりますが、原爆被害者以外の空襲被害者には、実態調査もなされず、追悼碑さえ建てられていません。

東京大空襲訴訟の判決文には「国会が立法を通じて解決すべき問題である」とも述べられています。

市内在住の被害者の方が「このままでは死にきれない」「人としての誇りを取り戻したい」「こんなつらい思いは私たちを最後にしてほしい」という思いをもって、国会への意見書提出の請願をされました。

私は、紹介議員となり、市民福祉常任委員会で趣旨を説明し、質疑を受けました。

他国の状況、実態調査、補償等の問題について、更にていねいな検討が必要ということ

で、継続審査となりました。

請願をされた方は10歳のとき、茨城県に疎開されている間に東京の空襲で家族を失われた戦災孤児です。筆舌に尽くしがたいご苦勞をして来られたというお話を伺いました。

敗戦国であるドイツ、イタリアを含むヨーロッパ諸国では、戦争被害者の処遇においては、軍人・民間人・国籍による区別なく補償が行われています。日本では軍人・軍属には50兆円以上の保障が行われている一方で原爆被害者以外の民間被害者への補償はありません。

しかし請願者は「お金の問題ではない。人間の尊厳の回復の問題です。」ともおっしゃってられます。意見書提出が実現できるよう、引き、続き、力を尽くします。

武井誠の 一般質問

1 2月定例会で武井誠は、市民みなさんからの声をもとに、①「坂戸市自転車の安全な利用に関する条例」に関わる自転車の活用と安全運転 ②障がい児の子育て支援 ③住民票等取得の本人通知制度、以上3項目について一般質問を行いました。それぞれの概要を報告します。

交通手段としての自転車は重要

「自転車は広く市民生活に密着し、環境への負荷も少なく、健康増進にも役立つ重要な役割を担って来ている」という執行部の答弁を受けて自転車優先道路の整備、交差点の位置表示、交通安全教室、自転車用シミュレーターの活用、駐輪場の整備、街頭指導などについて質問しました。

検討、あるいは積極的に取り組むとの答弁をえました。

自転車通学中学生のヘルメット

市民みなさんや、学校現場からの声をもとに、自転車通学の生徒と徒歩通学の生徒間の不公平感、学校ごとの対応のばらつき、生徒への強制による教員の負担増や、生徒との信頼関係の維持などについて質問しました。

教育委員会からは「今後、着用状況や効果、教員への負担等を含め、検証を進めてまいります。」市長部局からは「教育委員会と連携をとりながら調整し、適切に対応してまいります。」との答弁でした。

連携の重要性、特に学校現場の状況への十分な配慮が必要と指摘しました。

障がい児の学習権と子育て支援

市内の関係者の方から、子育てに悩む保護者の方の中に孤立しているケースがみられる。ストレスで心身の不調をきたすこともある、との声をうかがい、質問しました。

昨年1月に批准された「障がい者権利条約」、来年4月から施行される「障がい者差別解消法」の、特に行政機関が社会的障壁の除去について「合理的配慮」をしなければならないという趣旨に基づいて、障がいを持った子どもの学習権と保護者の子育て支援について質問しました。

就学支援委員会のあり方の原則を確認、また、乳幼児期から成人期まで切れ目のない支援が行えるよう、庁内全課で連携しながら計画の策定に取り組む、との答弁を得ました。

障「がい」の表記の考え方についても質問しましたが「議論の展開と国の動向について注視してまいりたい」との答弁でした。

「本人通知制度」登録者増を

市町村が、住民票の写しや戸籍謄本などを、代理人や第三者に交付した場合に、希望する本人に交付したことをお知らせする本人通知制度。大規模な戸籍・住民票の不正取得事件（その半数以上は結婚相手の身元調査に使われるそうです）が発生する中で、導入された制度です。埼玉では、県内全市町村一斉に施行されました。

いわゆる不正取得「抑止力」としての効果も確認されている一方で、通知希望者は事前に市町村への登録が必要であり、なかなか登録者数が増えないという問題があります。

手続きの簡略化や、広報の工夫などについて提言し、研究していくとの答弁を得ました。

坂戸市、新成人に

「あなたを守る働くルール」配布

成人式、坂戸市から新成人全員にプリントが配布されました。「あなたを守る働くルール『労働法』」。働く人たちのための相談窓口や、坂戸市ホームページからのアクセス方法などがわかります。過酷な労働現場に放り込まれている若者たちに、労働法の基礎知識と、追いつめられたときに相談できる場所を知ってもらおうという取り組み。

私の一般質問のささやかな成果です。

今年も統一地方選

4月12日には、全国の道府県、政令市の多くで首長・議員の、4月26日には、同じく市町村長・議員の統一地方選挙が行われます。

私たち社民党埼玉西ブロックからは

- ・川越市 高橋つよし(現職・公認)
- ・鶴ヶ島市 林じゅん(新人・推薦)
- ・毛呂山町 岡野つとむ(現職・公認)

以上3名が立候補を予定しています。

全員の当選を目指して全力で頑張ります。

今日までそして明日から～冬の日程～

議会以外の活動も含めた武井誠の冬の日程をまとめてお知らせします。どこかの場面で、みなさんとお会いできるのを楽しみにしています。お気軽に声をおかけください。

- | | |
|---|---|
| 1.10 坂戸ギタークラブ練習日
埼玉教職員組合旗開き | 1.21 「狭山事件」東京高裁前街頭宣伝行動 |
| 1.11 出初式 千代田公園
成人式 入西地域交流センター | 1.22 社民党埼玉県連合新春の集い |
| 1.12 学習会「現代の資本主義と金融」 | 1.24 「狭山事件」を支援する会新年会
無料法律相談・市民・年金相談会 |
| 1.15 メールマガジン発信 | 1.25 毛呂山町議岡野つとむ「新春の集い」 |
| 1.13 部落解放同盟旗開き | 1.26 学習会「生活保障 排除しない社会へ」 |
| 1.16 第六老社会新年会
4市合同議員研修会 | 1.28 ここカフェ@東上沿線 |
| 1.17 けやき作品展（18日まで）
連合埼玉川越西入間地域協議会新年会 | 1.28 学童保育の会学習会 |
| 1.18 郡山の子どもたちと遊ぶ会事務局会議
「武井誠を励ます会」新春の集い | 1.31 比企教職員組合「はじめの一步の会」 |
| 1.19 教育を語る会定例会 | 2.01 坂戸ギタークラブ練習日
メールマガジン発信 |
| 1.20 市民福祉常任委員会
入西地域交流センター利用団体会議 | 2.03 越辺川高麗川改修促進期成同盟視察研修 |
| | 2.09 予算概要説明会 |
| | 2.13 埼玉西部自治研事務局会議 |
| | 2.14 坂戸ギタークラブやまぶきの郷訪問演奏 |
| | 2.15 メールマガジン発信 |

アジアの平和を目指して part 3 講演会
このまま世界で戦争できる国になっていいの?!

日米ガイドライン改定と 集団的自衛権

講師 前田哲男 氏

日時 1月31日（土）18時30分～
会場 浦和コミュニティセンター
（浦和駅東口前パルコ10階）

参加費 1000円

10月8日に日米両政府はガイドライン見直しに向けた中間報告を発表。安倍政権は、統一地方選挙以降に、集団的自衛権行使に関連する国内法の整備をもくろんでいます。その中には、米軍による空港や港湾の使用、燃料供給や武器の運搬など、各市町村での一層の協力体制づくりも含まれており、私たちにとっても身近な問題です。争点隠しは許されません。

ガイドラインの中身を学び今後の日本のあるべき道と平和を探る場として上記の講演会を企画しました。ぜひご参加ください。

※武井誠も、実行委員会の賛同人になっています。

郡山の子どもたちと遊ぶ会

東日本大震災・原発事故の影響により、福島県郡山市には、今も不安を抱えながらの生活を余儀なくされている子どもたちがいます。

子どもたちに坂戸の夏を、思い切り楽しんでもらおうと、私たち「遊ぶ会」が企画した集団宿泊活動「広げよう小さな輪2014in 坂戸」は、坂戸市の全面的な協力を得て、好評のうちに終了することができました。

しかし、放射能への不安は、短い年月で解消するものではありません。

昨年10月に、第2回集団宿泊活動の企画がスタート、改善点と今後の展望を話し合い、実行委員会の発足に向けて事務局会議を重ねています。

ご協力をお願いいたします。

<私事短信> 友人と2人で始めた坂戸ギタークラブ（初級）。おかげさまで会員の方が20人を超え、日曜日の午後、入西地域交流センターで楽しく練習しています。5月には「童謡・唱歌を歌う集い」の企画も。あなたも、一緒にいかがですか？